

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立瀬戸南高等学校		
実践者等	坂口充津子	実践日	令和3年10月7日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	農業・課題研究		
対象生徒(学年等)	2年B・C組果樹園芸類型		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	タブレットPCを活用したデータの入力およびグラフの作成		
使用したアプリ等			
実践の概要(ねらい等)	これまでの成育調査の集計データをもとに、グラフ作成をすることができ、他の生徒と相互に学び合いながら学習させる。		
実践の内容			
<p>1 前時の授業の振り返りを行う。</p> <p>○各自タブレットPCを準備して、ID パスワードを入力しログインした状態にあることを確認する。</p> <p>2 本時の目標を知り授業の見通しを立てる。</p> <p>○板書内容を記録簿に記入させる。 (毎時間記入するよう指導している記録簿に、板書の内容を記入させて授業の内容を理解させる。)</p> <p>3 自分と他者のデータを活用して、グラフ作成を行う。</p> <p>○「新梢の長さ」の生育データから折れ線グラフを作成させる。</p> <p>○隣の生徒と各自のグラフの違いに気づかせる。</p> <p>○口頭での説明に加えて、ICTを活用し比較データを取り入れたグラフの作成方法を説明する。</p> <p>○机間指導を行い、個別に支援や助言を行う。</p> <p>○隣の生徒と協力しながら、資料などから操作手順を理解し、Excelでグラフを作成させる。</p> <p>○適宜、操作方法の助言については活動を止め、全員に説明して理解させる。</p> <p>4 振り返りを行う。</p> <p>○比較データが作成できたかを確認し、本時の内容や手順を理解して取り組めたかなど、理解度の振り返りを行い、進行状況を把握する。</p> <p>※事前にclassiで本時の取り組み内容を告知し、準備をさせておく。</p>			
参考となるHP等			